

contents

〈展覧会紹介〉院展	[2~3]
〈イベント報告〉ターナーからモネへ	[4~5]
平成29年度新収蔵品紹介	[6~7]
インテンってなに？ What's 院展？	[8]
次回展覧会のお知らせ	
お知らせ	

表紙：手塚雄二「新緑の沼」(部分) 2017年



2018年
6/8(金)▶24日

■ 休館日なし

【開館時間】午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

※6/8(金)のみ午前10時開館

【観覧料】一般900円 高校生以下無料

※20名以上の団体は2割引

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額

※高校生以下の方は学生証の提示が必要

【主催】福井県立美術館、日本美術院

【共催】福井新聞社、FBC福井放送

40TH
Reborn

福井県立美術館特別企画

院展

現代日本画の最高峰

巨星・横山大観生誕から150年、
現代の彗星、新星の煌めきを見よ。

「院展」を福井で！
最高峰の日本画が
集結する

主催の日本美術院は、本県ゆかりの岡倉天心(1863-1913)の遺志を継いだ横山大観らが、大正3年に再興、以来100年以上にわたり日本画壇を牽引してきた美術研究団体です。

その発表の場である「再興日本美術院展(院展)」は、福井では4年振りの開催となります。日本美術院の同人の新作、招待、日本美術院賞をはじめ、その他優秀作品を91点紹介します。院展は同人から一般の応募者が腕を競い合う作品の多様性が見どころの一つ。現代日本画の競演をぜひご覧ください。



「新緑の沼」手塚雄二



右:「朝陽と三日月」福王寺一彦
左:「海」村岡貴美男



「人の心に巣食う也」川崎麻央



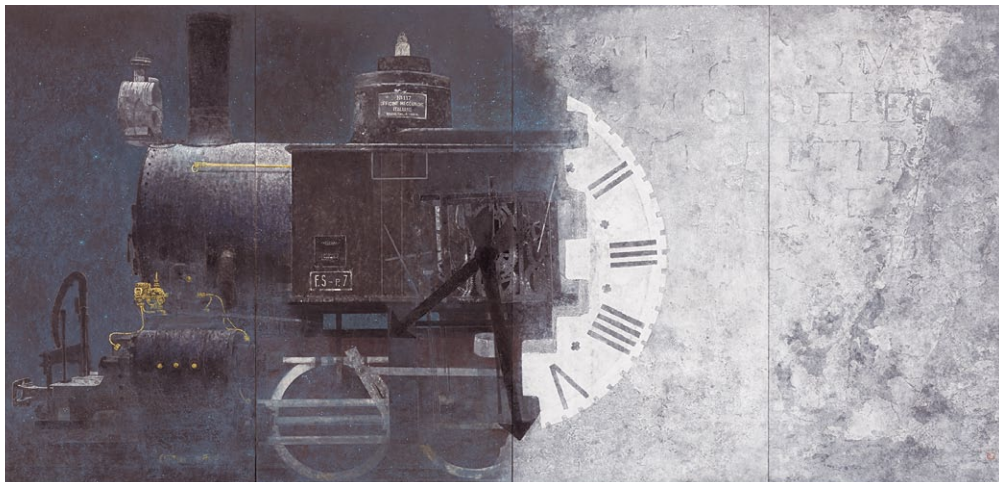
「備忘録」國司華子



「槌の音」高島圭史



「儘ならぬ」大河原典子



「STAR DUST」清水由朗

楽しみながら学ぶイベントが盛りだくさん!

スペシャルプログラム

1 **院展の巨匠・横山大観**
生誕150年記念 ミニ展示コーナー
※要観覧券

院展作家によるギャラリートーク
※要観覧券

6/8(金) 午前11時～12時
◎講師
清水 由朗氏 (日本美術院同人、創価大学教授)
村岡 貴美男氏 (日本美術院同人)

6/9(土) 午後2時～3時
◎講師
荒木 恵信氏 (日本美術院院友、金沢美術工芸大学准教授)

6/23(土) 午前11時～12時
◎講師 谷 善徳氏 (日本美術院特待)

お茶会

6/10(日) 午前11時～12時
◎啓新高等学校茶道部

6/16(土) 午前10時30分～12時
◎藤島高等学校茶道部

キッズミュージアム
「はじめての日本画体験」
※参加無料、一般・大学生は要観覧券

6/10(日) 午前11時～12時
◎講師
高島 圭史氏 (日本美術院招待、富山大学芸術文化学部准教授)
◎内容 幸せを運ぶ馬ともいわれるスウェーデンの民芸品「ダーラナホース」のイメージの白い馬の上に、日本画の岩絵具で自由に模様や絵を描きます。



5 **写経** ※参加無料
6/10(日) 午後1時～3時
◎講師 花房 禅佑氏 (瑞源寺住職)

6 **音楽会** ※参加無料
6/10(日) 午後0時～午後1時30分
◎演奏者 啓新高等学校日本音楽部 (琴)、道場 岳富氏 (尺八)

講演会 ※参加無料
6/10(日) 午後2時～3時30分
対談「日本画材、最前線」

◎登壇者
高島 圭史氏 (日本美術院招待、富山大学芸術文化学部准教授)
岩野 麻貴子氏 (岩野平三郎製紙所代表取締役社長)
◎コーディネーター 佐々木 美帆 (当館学芸員)
◎内容 日本画家・高島圭史氏と4代に渡って日本画紙製造に関わってきた岩野平三郎製紙所代表・岩野麻貴子氏を迎え、日本画の魅力や、その特徴ある画材、それぞれの分野の興味深いお話をお聞かせします。

6/23(土) 午後1時30分～2時30分
「私の視点」
◎講師 谷 善徳氏 (日本美術院特待)
◎内容 若手日本画家・谷善徳氏から、これまでの作品についてや日本画制作の苦勞、その魅力についてお話頂きます。

貝合わせワークショップ
※参加費1,000円、要申込

6/16(土) 午前10時～午後3時30分
◎講師 谷 善徳氏 (日本美術院特待)
◎内容 一對の貝に箔や日本画絵具を使って絵を描きます。飾ったり、大事なものを入れたり、香合にしたり…。あなた独自のたなごころの世界を貝に描いてみませんか?



おとな美
ナイトミュージアム
※要観覧券、参加費1,000円、要申込
6/16(土) 午後6時～9時
◎講師 牧井 正人 (県文化振興課主任)

作品からイメージした和菓子の展示
6/16(土)・17(日)
◎協力 福井市菓子組合連合会

トークサロン
※参加無料、要申込。ただし飲み物をご注文ください。
6/23(土) 午後5時～6時
◎講師 佐々木 美帆 (当館学芸員)

インテンってなに?
院展について知りたい方は
P8へGO!!



《イベント報告》

福井県立美術館開館40周年特別企画
ウェールズ国立美術館所蔵

4/7日▶5/27日

主催：ターナーからモネへ実行委員会
(福井県立美術館、福井新聞社、FBC福井放送)

ターナーから モネへ



本展は英国・ウェールズ国立美術館のコレクションから、19～20世紀の近代絵画73点を紹介しました。出品作品は英国絵画とフランス絵画から構成され、両国の100年にわたる絵画史の流れ—ロマン主義からリアリズム(写実主義)、アカデミズムと印象派、そしてポスト印象派へ—という西洋美術史の大きな潮流をご覧いただく機会となりました。

5章立ての展覧会構成に合わせて、会場を壁紙の色が異なる5つの部屋に分け、来館者はアーチ形の通路を通ることで次なるセクションへと誘われました。また本展初の試みとして、会場内に様式の異なる複数のシャンデリアを設置し、あるいは作家の言葉を切り文字にして壁に貼るなど、作品鑑賞をより豊かにする空間演出を試みました。

会期中は県内外から多くの方にご来場いただき、また週末や祝日に開催された各種イベントも盛況のうちに終わりました。

《通期イベント》

●タナモネ展 見どころ解説

[日 時] 会期中の土日・祝日 各10:30～(約15分間)

[会 場] 講堂

[講 師] 芹川貞夫(当館美術専門員)、
野田訓生(当館統括学芸員)

●ギャラリートーク

[日 時] 4月22日(日)、30日(月)、5月6日(日) 各回14:00～

[会 場] 展示室内

[案 内] 芹川貞夫(当館美術専門員)



《キッズイベント》

●マッキー先生のおやこ鑑賞ミュージアム

マッキー先生の案内のもと親子で楽しみながらタナモネ展を鑑賞。

[日 時] 4月14日(土)、21日(土)、28日(土) 各回10:00～12:00

[会 場] 展示室内

[講 師] 牧井正人
(県文化振興課主任)



●キッズミュージアム「モネのマネ」

特殊な写真に霧吹きをかけると…まるで印象派の絵画に。

[日 時] 4月15日(日)、5月19日(土) 各回10:00～12:00

[会 場] エントランスロビー

[講 師] 内藤秀信(ペーパークラフトモデラー、ごじら工房主宰)



●キッズワークショップ「好きな絵を描こう!」

マッキー先生といっしょに会場で見えた後に、好きな絵を選んで描いていただきました。

[日 時] 5月5日(土)、19日(土) 14:00～16:00

[会 場] エントランスロビー

[講 師] 牧井正人(県文化振興課主任)

《ちょっと大人の女性のスペシャルイベント》

●「おとな美ナイト」ミュージアム

美術館の夜を利用し、大人が集い、対話しながら絵を見る「おとな美ナイト」。多くの方が参加され、少人数のグループで対話しながら美術鑑賞を楽しみ、カフェでくつろぎながらアートについて熱く語り合っていました。

[日 時] 4月14日(土)、28日(土) 18:00～21:00

[会 場] 展示室内、美術館喫茶室ニホ

[講 師] 近藤愛氏(アートのるんプロジェクト)、
牧井正人(県文化振興課主任)、
野田訓生(当館総括学芸員)

[協 力] アートのるんプロジェクト、マッキー先生スタッフの会、
県立美術館喫茶室ニホ、美術館ボランティアの会

●春のファッションWeek “タナモネ・コレクション”

アートとファッションのコラボレーション！イギリスとフランスの国旗や本展の作品をモチーフに新たに制作したドレスなどを展示しました。

【第1弾】啓新高等学校ファッションデザイン科
4月28日(土)～5月13日(日)



【第2弾】福井文化服装学院
5月14日(月)～5月27日(日)



●芹川美術専門員が語る「モネ・ターナー・英国美術」

イギリス美術の流れ、印象派とは何か、あるいはターナーとモネ作品の関係性など、展覧会のポイントを解説しました。

【日 時】4月29日(日) 14:00～

【会 場】講堂

【講 師】芹川貞夫(当館美術専門員)

●英国式ティーマナー

紅茶のハウツー講座！紅茶の美味しい淹れ方から、明日誰かに話したくなるトリビアまで、紅茶の奥深さを学びました。

【日 時】5月11日(金) 14:00～15:30

【会 場】美術館喫茶室ニホ

【講 師】荒木雅美氏(紅茶館LA.SA・KU・RA)



●光と大気と水に導かれたちょっとメロウな音楽会

個性豊かな演奏者たちが、春から初夏へと向かうメロウな曲を奏しました！

- ・4月28日(土) 11:00～ 啓新高等学校
(ビッグバンド・ジャズ部)
- ・5月6日(日) 11:00～ 藤島高校弦楽部
(森の小さな音楽隊・そよ風の小さな音楽隊)
- ・5月12日(土) 11:30～ yurayurayuko+堺啓介
(シンギングボウル&シンセサイザー)
13:00～ つぼみ奏(ギター&ボーカル)
14:00～ Cocon(ピアノ・ドラム等)
- ・5月13日(日) 11:00～ 門井ゼミナール
(クラリネット等管楽器)
- ・5月19日(土) 13:00～ 森幹男(口笛)
14:00～ Omni-modi(オムニ・モディ)



Omni-modi(オムニ・モディ)

《コラボイベント》

●美術館喫茶室ニホ連携

トークサロン「展覧会ができるまで」

担当学芸員が、展覧会準備の裏話や苦労話を美味しい飲み物を飲みながら語る会。コアなファンが多く集まりました。

【日 時】5月13日(日) 17:00～18:00

【会 場】美術館喫茶室ニホ

【講 師】野田訓生(当館総括学芸員)



●ライブラリー連携

福井県立図書館や福井市立図書館、福井市立桜木図書館でタナモネ展特集コーナーを設置していただきました！



県立図書館の特集コーナー

平成29年度新収蔵品紹介

【寄贈】

横山操関係資料 (12点) 横山彩子氏寄贈

画壇の風雲児として知られる横山操(1920～1973)は、規格外の画面サイズで明快かつ力強い作品を次々と発表し、戦後の日本画を革新した。今回寄贈された12点には、遺族の下に遺された本画に加え、現在は解体されているものの、昭和38(1963)年開催の屏風絵展に出品された紅白梅図、あるいはスケッチや画稿類など、画家の試行錯誤がうかがえる貴重な資料も多数含まれている。



横山操「舞妓」
1面 絹本着色 1956(昭和31)年 43.8×50.0cm



横山操「川」 1枚 紙本墨画淡彩
1956(昭和31)年 27.0×24.0cm



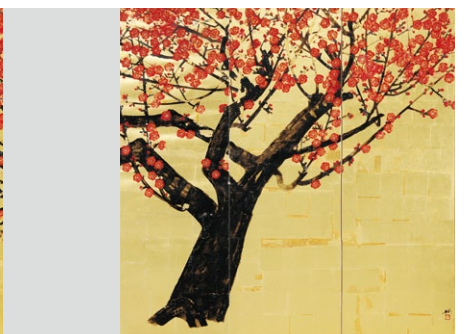
横山操「舞妓」 1面 紙・オイルパステル
1956(昭和31)年頃 43.8×35.5cm



横山操「白梅」
紙本銀地着色 1963(昭和38)年



横山操「紅梅」
紙本金地着色 1963(昭和38)年



【寄託】 (5点)

- 「源氏物語図屏風」 6曲1双 紙本金地着色 17世紀(江戸時代) (各)152.6×361.8cm
- 「東山遊楽図屏風」 6曲1双 紙本金地着色 17世紀(江戸時代) (各)111.7×272.4cm
- 「巖島遊楽図屏風」 2曲1双 紙本金地着色 17世紀(江戸時代) 159.8×176.0cm
- 月岡雪鼎「大小舞図」 1幅 絹本着色 18世紀(江戸時代) 92.0×34.3cm
- 月岡雪鼎「美人図」 1幅 絹本着色 18世紀(江戸時代) 94.2×35.6cm



豊田三郎「琉球壺の菊」
1面 カンヴァス・油彩
2014（平成26）年 72.7×53.0cm

【寄贈】
豊田三郎関係資料（7点） 豊田薫氏寄贈

故郷である福井市美山地区（旧足羽郡美山町）の風景を描き続けた洋画家・豊田三郎（1908～2015）が、80代後半からその晩年にかけて描いた静物画。作家本人が「若い時からの宿題」として言及した洋画における線表現や、余白の問題が一連の静物画制作のなかで追究されている。



豊田三郎「リンゴ」
1面 カンヴァス・油彩
1996（平成8）年 33.3×45.5cm

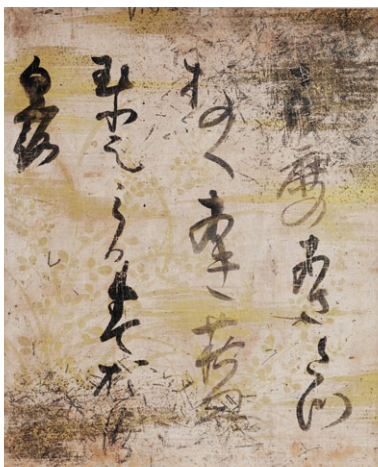


豊田三郎「アネモネ（黒）」
1面 カンヴァス・油彩
2012（平成24）年 60.6×50.0cm

【寄贈】
豊臣秀頼「和歌色紙」 沖野栄喜氏寄贈

一幅 紙本墨書
桃山時代（17世紀）20.5×16.6cm

豊臣秀吉と側室浅井氏（茶々、淀殿）の子で、豊臣家最後の当主となった秀頼（1593～1615）の揮毫になる和歌色紙。金銀の装飾を施した料紙に、奈良時代の歌人・大伴家持の和歌「さを鹿の、朝立つ小野の秋萩に、玉と見るまで置ける（本書では「落つる」）白露」が、たっぷりとした筆致で書されている。加賀藩主・前田家に伝来した秀頼和歌色紙の一枚。



さを鹿のあさたつ
おののあき萩に
玉とみるまでおつる
白露



【寄贈】
荒川豊蔵「志野茶碗」 本多和子氏寄贈

一口 陶器 昭和20年代後半～30年代
口径12.3、高台径6.9、高さ9.0cm

戦後日本を代表する陶芸家で、文化勲章を受章した人間国宝・荒川豊蔵（1894～1958）の志野茶碗。作風などから、昭和30（1955）年に人間国宝に指定された前後の作と考えられる。桃山志野に範を取りながらも、ゆったりとした姿や変化に富んだ釉調に、豊蔵の独自性が加味されている。桃山志野の研究と復興に取り組んだ、作者の典型的な作品である。



次回展覧会のお知らせ

開館40周年後期特別企画展③



Picasso et l'art ancien à travers les estampes de la collection de la Bibliothèque nationale de France

20世紀最大の巨匠パブロ・ピカソ。その豊かな才能と制作量からピカソを凌駕する作家はないと評されています。版画のみをみてもそのことは明らかで、青年期から最晩年に至る70年以上に及ぶ創作活動において制作された版画数は2,000点近くに及びます。

ピカソの版画は、美術史の巨匠たちの作品(レンブラント、ゴヤなど)から大きな影響を受けています。本展は、フランス国立図書館所蔵の膨大なコレクションから、ピカソの重要な版画作品を厳選して紹介するとともに、彼が美術史の巨匠たちから影響を受けて制作した数々の作品を併せて展示し、多様に変遷したピカソの版画作品の独創的な表現の世界に光をあてる貴重な展覧会です。

※富山県美術館所蔵の油彩作品「パブロ・ピカソ《座る女》」が特別出品されます。

【会期】

平成30年7月14日(土)～8月26日(日)

※休館日：8月6日(月)

主催：ピカソ展実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、FBC福井放送)

料金：【前売り】一般1,000円、ペア1,900円

【当日】一般1,200円(1,000円)、高校生700円(500円)、中・小生400円(300円)

※()は団体価格です。

和洋の版画
夢の競演

福井市美術館で開催される「歌川広重の世界～保永堂版 東海道五十三次と江戸の四季～」展(7/21(土)～9/2(日))との一般共通チケットを販売します。

共通チケット料金：【前売り】1,800円 【当日】2,000円

※6月28日(木)～7月3日(火)は燻蒸期間のため、県立美術館のチケット窓口でのチケット販売は行いません。

お知らせ

◎2018年6月下旬～7月上旬の休館日について

展示替え、館内メンテナンスなどのため、下記期間は休館とさせていただきます。

6月25日(月)～7月13日(金)

◎美術館喫茶室二ホ
臨時休業について

6月29日(金)～7月3日(火)